

山形県

(尾花沢市)

交信かく乱剤を用いたスイカのオオタバコガ防除法の実証

【1. 概要】

- ・スイカにおいてオオタバコガの発生予察法を検討
- ・交信かく乱剤を用いた効率的防除法を構築し、現地実証(5.2ha)を実施
- ・「総合的病害虫・雑草管理(IPM)実践指標モデル」を1,000部作成し、研修会等を通じ普及を推進

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・オオタバコガは飛来性害虫であるため、発生予測が困難であり、効果的な防除方法が望まれていた
- ・現地圃場における交信かく乱剤の効果検証を行っていく中で、設置作業の効率化が課題となっていた

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・生産者を対象とした被害実態に関するアンケート調査や研修会等により、地域全体の目的認識が統一されるとともに、対策を行う上での課題抽出ができた
- ・ミニトマトを指標植物とした簡易予察手法を実証した(図1、2)
- ・交信かく乱剤(コナガコンーplus、農林水産省登録第22763号)を圃場周辺のみを設置することで、作業時間の短縮を図った

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・スイカ圃場内に栽植したミニトマトを指標植物とすることで、生産者自らがオオタバコガの発生状況を随時把握できるようになった(図3)
- ・交信かく乱剤の効率的な設置方法により、防除効果を維持しながら、作業時間を慣行の薬剤防除と比較して約6割程度に短縮できた

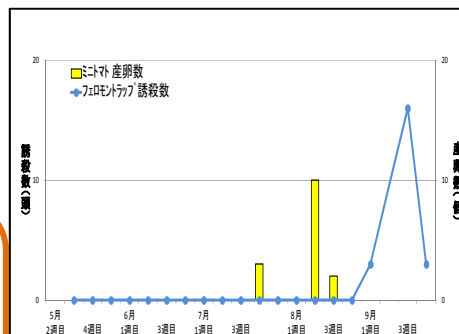


図1. 実証圃場における誘殺数と産卵数

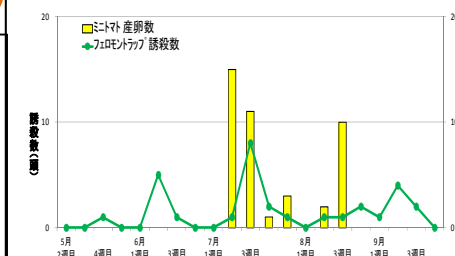


図2. 対照圃場における誘殺数と産卵数



図3. 指標植物(ミニトマト)における果実被害と産卵状況

【問い合わせ先】

農林水産部農産技術環境課
電話：023-630-3419